



マークがついた枠内は、議員が質問の背景や説明をまとめたものです。

マークとしてある質問項目は本文に内容を掲載しています。

質問項目▶ 教育について



録画映像

信頼できる大人とは

さいとうかずや 齋藤和也

(創成)



答 分 日々の関わりの中で育む

問

部活動や地域活動の減少に伴い、「礼儀

答

教育委員会としての

問

信頼できる大人の育

答

各校で工夫して時間

問

教員が子供と向き合

答

部活動以外で縦の関

問

係や年齢差を生かし



信頼できる大人とは

年

齢を超えた交流も実施

答

部活動は自主的な活

みはあるか。

質問項目▶ 原発再稼働問題 会計年度任用職員の処遇改善



録画映像

意見交換会での市長の発言は

ながい ゆきお 長井由喜雄

(日本共産党議員団)



答 分 明確に再稼働に「反対」する旨を発言した

答

先に結論を申し上げ

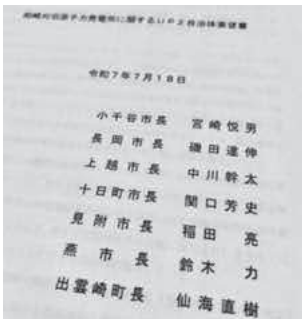
問

新潟・三条・佐渡ブ

7月18日に原発再

稼働に関わる知事

ばいいのか、避難計画の実



意見交換会の前には花角知事へ「UPZ自治体要望書」が提出された

を

発言した。

効性が不十分だ。さらに国の責任が曖昧な点も気になる。以上、3点の懸念・課題が解消されない限り、燕市長として再稼働に賛同することはできないと考える」と、明確に反対する旨を

質問項目▶ 避難行動要支援者名簿 新たな地域医療構想



録画映像

地域を一つの病院に！

たかはし たえこ 高橋妙子

(創成)



答 分 医療介護が一体となり取り組んでいる

問

高齢者の個別訪問や

答

地域のバックアップ

問

新潟大学の地域医療

新たな地域医療構想



2027年秋開院予定の新潟県立吉田病院の完成予想図(新潟県病院局提供)

や在宅、介護分野との連携を強化することが重要と考えるが、市の認識を伺う。今年2月に医療法等の一部を改正する法律が閣議決定され、地域医療構想調整会議の構成員として市町村が明確化された。今後の県央医療圏での議論を踏まえ、燕・弥彦地域での適切な医療を効率的に提供する仕組みについて、より積極的に取り組みたい。



マークがついた枠内は、議員が質問の背景や説明をまとめたものです。

マークしてある質問項目は本文に内容を掲載しています。

質問項目▶ フェニックスクーポン 道の駅国上



クーポン発行の経緯を伺う

こばやしあきみつ
小林秋光 (創成)



答弁 市民生活や地域経済を守るために

問 今後の普及率向上の見通しについてどのようになっているのか伺う。

答 今後の下水道整備は、令和10年度の概成に向けて整備を推進し、その後、令和11年度以降については全体としての普及率向上につなげる努力をする。さらに個別処理区域における合併処理浄化槽の設置や入替えなどの支援策を強化していく必要があると考えている。

問 現在の燕地区・吉田地区・分水地区における面工事終了後の普及率はいかがか伺う。

答 燕地区では62・6%、吉田地区が44・4%、分水地区が45・7%となっている。

問 今後の普及率向上の見通しについてどのようになっているのか伺う。

答 今後の下水道整備は、令和10年度の概成に向けて整備を推進し、その後、令和11年度以降については全体としての普及率向上につなげる努力をする。さらに個別処理区域における合併処理浄化槽の設置や入替えなどの支援策を強化していく必要があると考えている。

問 物価高騰が市民生活や地域経済に大きな影響を及ぼす中、迅速な判断により、臨時交付金を活用した「フェニックスクーポン」第7弾が発行された。

問 クーポン発行に至った経緯について伺う。

答 さきの6月定例会で説明したとおり、エネルギー、食料品価格等の物価高騰による市民や市内店舗への影響が長期化する中、市民生活や経済活動を下支えることを目的に発行することとした。また、予算額は事業費1億2607万2000円の財源として、国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金9881万9000円を充てており、これに加えて一般財源2725万3000円を投じて実施することとした。

問 利用期限の周知方法について伺う。

答 「広報つばめ」8月号及び市の公式LINEや市のホームページなどでお知らせしている。その上で使用期間が終了する1か月前の12月に再度クーポンの使い忘れ等がないように、公式LINEやホームページなどでお知らせしていく。



フェニックス
クーポン券
取扱店舗一覧

12月31日までの有効期限内に
しっかり活用しましょう

質問項目▶ 大河津分水路工事の残土利用 国上地区の林道 旧可動堰 子育て支援



早向線、早向川整備について

さいとうのぶゆき
齋藤信行 (創成)



答弁 大河津分水路の残土利用で観光道路整備

問 早向線の道路脇にゴミの不法投棄がある。大河津分水路の残土利用で観光道路として整備できないか。また、大雨などで岩や土砂が流れる早向川と早向線を一体的な整備ができないか伺う。

答 現地の状況は、国上地区から長岡市方面に向かい左側に民地山林、右側道路沿いに県管理の1級河川早向川がある。長岡市管理道路は狭い曲線区間が連続し、終点部には民家があることから道路拡幅整備は困難である。観光道路については、関係部局と連携し研究したいと考える。残土利用については、信濃川河川事務所に情報提供したい。早向川の整備に関しては、早向川は国上地区の山間部から大河津分水路に流れる1級河川であり、新潟県が管理している。総延長2・2キロメートルのうち、中流部の区間で護岸が未整備状態にあり、雑木が繁茂している状況である。県へ早向川の護岸整備や雑木伐採について要望してい



大河津分水路工事の残土の
利用で環境整備を

るが、実施には至っていないことから、今後も引き続き河川の堆積物除去等を含めた河川整備の要望を続けていく。

質問項目▶ 下水道普及率 農業問題



下水道の普及率向上へ努力を

つちだのぼる
土田 昇 (日本共産党議員団)



答弁 28市町中25位で普及向上に努力する

問 下水道問題については過去にいろいろと普及向上に向けて発言をしてきた。今後の普及率向上に向けての考えを伺う。

答 平成30年度に燕市汚水処理施設整備構想を策定した。公共下水道で整備する集合処理区域と合併処理浄化槽で整備する個別処理区域に分類して、まず下水道は未普及地域の早期解決を図っていくと進めてきた。

問 今後の普及率向上の見通しについてどのようになっているのか伺う。

答 今後の下水道整備は、令和10年度の概成に向けて整備を推進し、その後、令和11年度以降については全体としての普及率向上につなげる努力をする。さらに個別処理区域における合併処理浄化槽の設置や入替えなどの支援策を強化していく必要があると考えている。

問 現在の燕地区・吉田地区・分水地区における面工事終了後の普及率はいかがか伺う。

答 燕地区では62・6%、吉田地区が44・4%、分水地区が45・7%となっている。



令和10年度に向けて
下水道整備が進んでいる

質問項目▶ 学校施設整備 長善館



グラウンド中長期整備計画を

おかやまひでよし
岡山秀義 (創成)



答弁 新市長と相談し計画策定を検討していく

問 市内小中学校においてグラウンドは、体育の授業や部活動、学校行事に欠かせない重要な施設である。現場からは老朽化による凹凸の発生、雨天時の水はけの悪さによる長期間の使用不能など多くの課題が寄せられている。授業や練習が制限される学校もあり、学習活動に大きな支障を与えているのが現状である。児童生徒が安心して利用できるよう整備を望む。

問 計画的な維持管理が求められる中で、グラウンド整備は突発的な修繕にとどまり改善はされていないと考える。中長期整備計画を策定すべきと考えるが。

答 計画の策定には利用頻度や安全性、地域利用の有無なども含め新市長と相談しながら検討していく。

長善館の心は良寛さんの心

長善館の志である「世の中の役に立つ、困る人の役に立つ人材を



改善の要望がある
学校は6校。児童
生徒が安全に活動
できるよう早急な
対応が必要である

問 いじめの問題なども鑑みて、燕の子供たちに勉強だけでなく、人を思いやる優しい心を育てる取り組みが必要と考えるが。

答 つばめ長善プロジェクトや長善タイムを利用し、いつの時代でも大切な資質を一層伸ばしていく。子供たちに伝えていく。

質問項目▶ 定額減税補足給付金制度 国民健康保険制度



録画映像

国保税の負担軽減を

 みやじとしひろ
宮路敏裕
 (日本共産党議員団)

 答弁 **全国市長会を通じ国へ要望していく**

答 「国保税の負担を協会けんぽ並みに」と求める請願が全国の県や市

が認識を伺う。
 減が求められるのではない

問 国保加入世帯は高齢者、低所得者などで構成され、協会けんぽなどと比較して2倍近い保険税の負担を強いられる。全国知事会や市長会は国に対し「1兆円の公費投入で負担軽減を」と繰り返し提言している。物価高、自営業のインボイス制度など国保加入者を取り巻く環境は厳しい折、燕市の国保税負担軽減が求められるのではないかと認識を伺う。

答 滞納世帯が医療費の一時払いが困難な場合の措置について承知している。国、県から通知が届いたら、滞納者に催告書を送付する際にお知らせを同封し、来庁された方には説明して周知を図る。

問 政府は国保税滞納世帯が受診時の会計で、10割支払いが困難だと申し出れば、市の判断で3割支払いとする措置を閣議決定しているが、周知はどう図るのか。

町村から提出されていること。全国知事会、全国市長会では国保の負担軽減の提言を行っている。その上で当市は令和4年度に税率引下げを実施。また、未就学児の均等割5割軽減を行っている。市としては負担軽減措置と減収分の財政支援が合わせて必要であり、市長会を通じ国に要望していく。

国民健康保険制度等の改善強化に関する提言

国民健康保険制度及び後期高齢者医療制度の安定的で持続可能な運営を目的として、国は、次の事項について積極的な措置を講じられたい。

1. 医療保険制度改革について
 (1) 将来にわたり安定的で持続可能な制度とするため、すべての国民を対象とする医療保険制度の一本化に向け、抜本改革を実施すること。
 また、少子高齢化等の社会環境を踏まえ、今後の医療保険制度の存続について、国民への丁寧な説明を行うこと。
 (2) 被用者保険の適用拡大は、人口減少に伴い被保険者が減少している国民健康保険において一定の所得を有する生産年齢人口層の離脱が進み、負担の増える構造的な課題を深刻化させるおそれがあることから、その解消に当たっては、将来を見据えた国保制度や支援等についても併せて十分

全国市長会の「国民健康保険提言」文一部抜粋

質問項目▶ 児童の熱中症対策 信号機設置 公共下水道污水管工事入札



録画映像

30分以上歩く児童もいる

 タナカ・キン
 (市民クラブ)

 答弁 **冷凍庫を導入する方向で検討していく**

答 各学校では日傘等も含め、登下校時に

問 最近は冷却グッズを使用する児童もいるらしいが。

答 学校が指導する登下校し、①必要に応じて日陰などで休む、②水分を補給する、③異変が生じた際は近隣住民に助けを求める。などの指導を行っている。

問 学校が指導する登下校時における熱中症対策について。

答 今年の夏は暑かった。このような暑さがこれからも続くと言われている。また、今の子供は昔よりも熱中症に罹りやすく、理由として汗をかけない児童が増えているとのことである。これは汗腺が未熟で体温調節の機能が十分に発達しておらず、また、背が低い地面からの放射熱の影響を強く受けるからである。登下校時の熱中症対策については前向きに検討する必要がある。



燕市にも登校時に「ネッククーラー」を使用している児童もいる

問 小学校に冷凍庫を設置して、冷却グッズを冷やしたいと思うが。

答 冷凍庫の導入は既に取り組んでいる自治体もある。市教育委員会としては、まず試験的・モデル的に導入していく方向で検討していきたい。